

あとがき

北京オリンピックの興奮も醒め、勉学や食欲の秋をお迎えのことと思います。ここに『臨床眼科』9月号をお届けいたします。

「今月の話題」は小林顕先生による「レーザー生体共焦点顕微鏡による角膜の観察」です。これまで多くの形態研究に新しい知見をもたらしてきたレーザー共焦点顕微鏡の眼科臨床への応用編ということで、通常の細隙灯顕微鏡ではわかりにくかったさまざまな微細所見が見事に提示されています。かつて OCT がそうであったように、近い将来、このような診療器具が多くの医療機関で配備され、さらに正確な診断や病態の理解に役立てられる日が来るのではと予感させられます。

「もっと医療コミュニケーション」は第9回で、佐藤綾子先生による「医師も『言語調整動作』を学ぼう」です。人権に対する国民意識が次第に変化している今日、医療に対する意識も急速に変化していることに皆さんもお気づきのことと思います。診療は患者の自発的な受診行動からすべてが始まるわけですから、主人公はあくまでも患者本人であることを医師が理解し、その理解を言葉や態度で示すための方法やヒントが解説されています。

「網膜硝子体手術手技」の第21回は「開放性眼外傷—眼球破裂、強角膜穿孔の2次的硝子体手術(2)」です。いつもながら、寺崎浩子先生指導のグループによる豊富な経験と論理に基づく治療を目的とした確実かつ徹底した手術手技は、プロ中のプロならではの刮目させられる内容となっています。

「やさしい目で きびしい目で」は五嶋摩理先生による「帰国子女随想」です。多民族・多価値観国家のアメリカで小中学校教育を受け、その後帰国し、今度は単一民族・単一価値観国家の日本でのさまざまな苦労から得られた、本人だけが持つ財産が淡々と流れるような文体で記されています。

その他多くの学術論文とともに今月も勉学の秋にふさわしい内容となっています。どうぞお楽しみください。(中澤 満)

編集顧問 宇山昌延 大野重昭 清水弘一 玉井 信 塚原 勇 水流忠彦 馬嶋昭生
増田寛次郎 三宅養三

編集委員 坂本泰二 鈴木康之 寺崎浩子 中澤 満 西田輝夫 根木 昭 (五十音順)

臨床眼科 (第62巻 第9号)

発 行 株式会社 医学書院

2008年9月15日発行 (毎月1回15日発行)

代 表 者 金原 優

定価 2,835 円 (本体 2,700 円+税 5%)

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室 (03) 3817-5706 FAX (03) 3815-7802

E-mail: ringan@igaku-shoin.co.jp

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

振替口座 東京 00170-9-96693 番

印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005

広告申込所 (有)文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo Bunkyo-ku, Tokyo © 2008, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信 (送信可能化権を含む) に関する許諾権は医学書院が保有しています。

・ 医学書院ホームページ (インターネット) は Web <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。「臨床眼科」のページにて最新号の目次、バックナンバーを直接閲覧頂けます。Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/ringan/>

・ JCLIS< (株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム (03-3817-5670) の許諾を得てください。

担当 鶴淵・風間・中田